

# オンラインショップのご案内

ニッスイ公式ショップ総本店

<https://nissui-koushikishop.jp/>



ニッスイ公式ショップ総本店は、地球が与えてくれる水産資源から、多様かつ新しい価値を引き出し、日々挑戦を続けているニッスイの公式通販店舗です。「活べ黒瀬がり」「海鮮彩宝漬」などの人気の海鮮品に加え、総本店限定の冷凍食品、水産缶詰など幅広いラインナップで、想いのこもった商品を大切に、皆様のもとへお送りしています。



商品カテゴリ



生ずわいがに

ニッスイのかには鮮度抜群  
お刺身でもお召し上がりいただけます

えびチャーハン

ニッスイだからできる独自製法で  
えび本来のぷりっぷり感

海鮮彩宝漬

北海道あわびやイクラなど  
豪華素材がたっぷりな  
ニッスイ自慢の一品

株式会社ニッスイ

〒105-8676  
東京都港区西新橋1-3-1 西新橋スクエア  
ウェブサイト <https://www.nissui.co.jp/>



本誌は環境へのやさしさに配慮して、FSC®認証紙と植物油インキを使用するとともに、針金を使わない「ECO綴じ」にて製本しています。

表紙への想い

表紙は、今号でご紹介した「完全養殖黒瀬がり」の研究・開発と、ブランドシンボルの形状をモチーフにした「コネクティングフレーム」をつないだデザインです。



# NISSUI REPORT

## 第108期 中間

2022.4.1 ▶▶ 2022.9.30

株式会社ニッスイ

証券コード：1332



まだ見ぬ、食の力を。

# Top Message -株主の皆様へ-

トップメッセージ

新社名「株式会社ニッスイ」として、  
2030年長期ビジョン達成に真摯に取り組んでいきます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

## 2022年度 第2四半期の実績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月にまん延防止等重点措置が全面解除され、人流が回復したことにより外食などサービス業を中心に改善傾向がみられましたが、7月からのオミクロン変異株の感染急拡大(第7波)により外出を控える動きがみられるなど一時停滞する状況となりました。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に起因する資源価格の高騰など、インフレ圧力の高まりや急激な円安が企業活動の重しとなりました。

世界経済(連結対象期間1-6月)につきましては、1月に欧米でオミクロン変異株の感染が急拡大したものの、行動制限の解除に伴って人流が回復し個人消費は堅調に推移しました。一方で、2月末からのロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受け資源の供給不安、エネルギーコストの上昇などの影響がありました。足元では、欧米で利上げ実施による景気減速が懸念され、日本では急激に円安が進行するなど先行き不透明な状況が続いております。

当社および当社グループにつきましては、水産事業は



株式会社ニッスイ  
代表取締役 社長執行役員  
最高経営責任者(CEO)

浜田 晋吾

前期に引き続き国内外の販売が堅調に推移するとともに、国内養殖事業の改善が一部の魚種を除き継続、北米加工事業のコスト削減も進んだことから大幅増益となりました。一方、食品事業では国内外とも販売は堅調ながら、原材料価格を始めとしたコストアップの影響を大きく受けました。

このような状況下で当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は3,772億7百万円(前年同期比375億95百万円増)、営業利益は133億32百万円(前年同期比5億33百万円減)、経常利益は147億16百万円(前年同期比14億45百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、子会社の日水製薬株式会社株式の売却による特別利益などもあり117億47百万円(前年同期比3億40百万円増)の増益となりました。

## 2022年度 通期業績予想の修正

水産品の販売価格上昇や食品の値上げ、円安の影響などにより売上高が上振れしたこと、子会社の日水製薬株式会社株式の売却による特別利益の計上などを踏まえ、通期の業績予想を修正いたします。

|       | 2021年度<br>前期実績 | 2022年度<br>修正計画 | 対前期比<br>増減 | 増減率<br>(%) | 2022年度<br>期初計画<br>(5月発表) | 対期初<br>計画比<br>増減 |
|-------|----------------|----------------|------------|------------|--------------------------|------------------|
| 売上高   | 6,936億円        | 7,500億円        | 563億円      | 8.1        | 7,200億円                  | 300億円            |
| 営業利益  | 270億円          | 225億円          | ▲45億円      | ▲16.9      | 225億円                    | 0億円              |
| 経常利益  | 323億円          | 255億円          | ▲68億円      | ▲21.2      | 255億円                    | 0億円              |
| 当期純利益 | 172億円          | 200億円          | 27億円       | 15.8       | 180億円                    | 20億円             |

## ニッスイグループ統合報告書2022

10月に「ニッスイグループ統合報告書2022」を発行し、ウェブサイトで公開しています。本報告書では、ニッスイグループのありたい姿、CEOメッセージ、価値創造プロセス、サステナビリティ、ガバナンスといった財務情報と非財務情報を統合し、長期的な企業価値向上に向けたニッスイグループの取り組みを記載しています。本報告書を通じて、株主の皆様へニッスイグループの中長期的な経営の取り組みに対する理解をより一層深めていただければ幸いです。詳細はこちらをご覧ください。

統合報告書  
▶ [https://www.nissui.co.jp/ir/ir\\_library/integrated.html](https://www.nissui.co.jp/ir/ir_library/integrated.html)



## 新社名「株式会社ニッスイ」

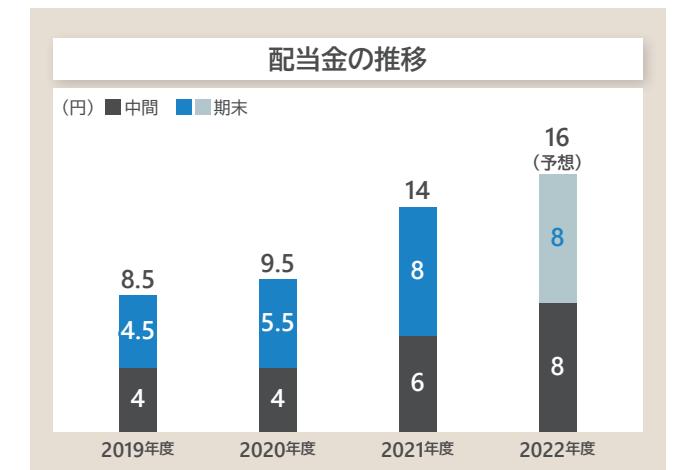
2022年12月1日をもって社名を「日本水産株式会社」から「株式会社ニッスイ」(英文:Nissui Corporation)へ改称しました。これを機に従業員一同、心を新たに社業の

発展に努力を尽くす所存でございますので、何卒今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 株主還元について

ニッスイグループの利益配分については、長期的・総合的視野に立った企業体質の強化ならびに将来成長が見込まれる分野への事業展開に備えた内部留保に意を用いつつ、経営環境の変化に対応して連結業績に応じた株主還元を行うことを基本方針としています。2022年度中間配当は、期初計画通り2円増配の1株8円とさせていただきます。

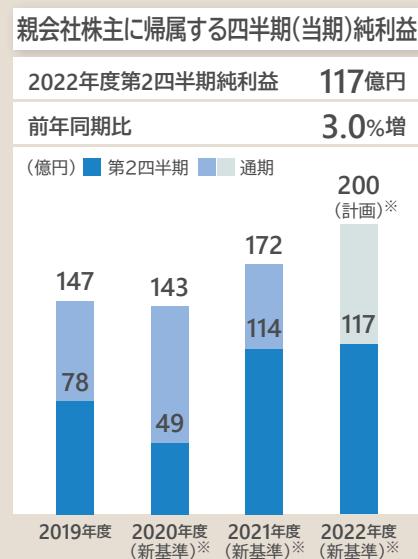
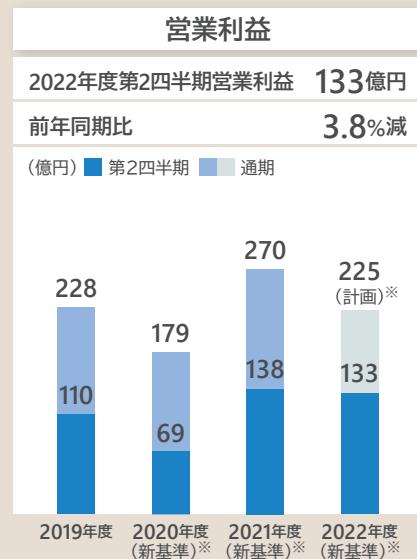
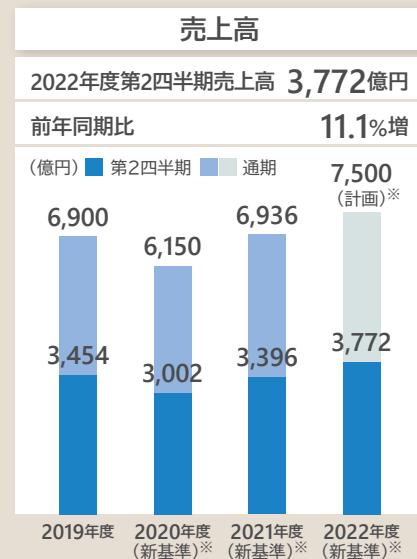
事業ポートフォリオ経営とサステナビリティ経営を推進し、企業価値を高める努力をしております。引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



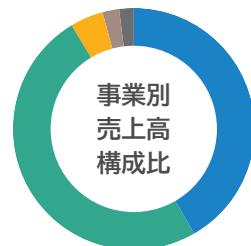
# Financial Information

2022年度第2四半期決算情報(2022年4月1日～2022年9月30日)

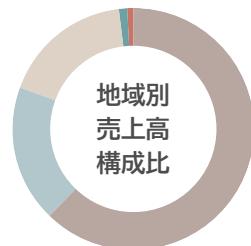
- 決算のポイント**
- ✓ 魚価上昇や食品の値上げ、円安で増収も営業利益は若干減益。計画比では順調に推移
  - ✓ 水産は前期から引き続き消費が堅調なうえ魚価にも恵まれ増収増益
  - ✓ 食品は増収もコストアップ影響が大きく減益



| 事業         | 割合    | 売上高     |
|------------|-------|---------|
| 水産事業       | 41.8% | 1,574億円 |
| 食品事業       | 49.7% | 1,873億円 |
| ファインケミカル事業 | 4.5%  | 171億円   |
| 物流事業       | 2.1%  | 80億円    |
| その他        | 1.9%  | 72億円    |



| 地域    | 割合    | 売上高     |
|-------|-------|---------|
| 日本    | 62.3% | 2,348億円 |
| 北米    | 18.3% | 688億円   |
| ヨーロッパ | 17.5% | 661億円   |
| 南米    | 1.3%  | 48億円    |
| アジア   | 0.6%  | 24億円    |



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。上記の2020年度および2021年度(新基準)・2022年度(新基準)・(計画)は当該会計基準等を適用した金額となっております。

IR情報  
▶ <https://www.nissui.co.jp/ir/index.html>



# ニッスイ商品 Pick up

## サステナブルな未来を実現する 完全養殖「黒瀬ぶり」

身が締まっていて程よい脂のりと、歯ごたえ・味・風味がよい「黒瀬ぶり」は、養殖ブリの最高峰といわれています。約20年間蓄積した「成熟制御」「人工種苗」の研究により、一年を通して季節を問わず脂の乗ったおいしいブリをお届けしています。



### 人工種苗100%のブリを世界の食卓へ

2022年度から、出荷したブリの全量が人工種苗となり天然種苗を漁獲しない養殖を確立しました。そんな人工種苗100%のブリを国内だけでなく、世界各地への販売も加速しています。

### 完全養殖、人工種苗って何？

養殖魚が産卵した卵から稚魚～成魚へと成長させ、さらに産卵させるという一連のサイクルを、すべて人間の管理下で行うことを**完全養殖**といい、この一連のサイクルの中で生産される、仔魚、稚魚のことを**人工種苗**といいます。



10月1日発売※の新商品  
「ぶり大根 黒瀬ぶり尾肉使用」

資源の付加価値を高め、フードロスの削減にも貢献  
「黒瀬ぶり」の加工の過程で発生する年間30トンの尾肉を缶詰の原材料として有効活用した商品です。



※関東甲信越限定発売

TOPICS  
トピックス

## 中期経営計画「Good Foods Recipe1」

ニッスイグループは中期経営計画で掲げる基本戦略を通じて、「もうワンランク上」の成長を目指しています。



「キューディッシュ」の商品イメージ

### 「食べ切り個食パック」で和洋中 バラエティに富んだメニューを提供

「巣ごもり」需要や家飲み増加などの生活行動の変化により、袋物惣菜市場が拡大しています。チルド事業で培った食材加工技術と冷凍食品で得た冷凍技術の強みを掛け合わせた新事業領域「キューディッシュ事業」を通じて、よりおいしく手軽で便利な新しい“食”を実現していきます。

### より付加価値の高い水産物をお客様へ 在庫管理・加工・配送機能を集結させた 「流通プラットフォーム」を構築

水産流通の一連の機能を一括受託し、お客様の代わりに在庫管理からお届けまでを集結させる「流通プラットフォーム」を構築、ITによる一元管理により新たなビジネスチャンスを広げていきます。



### ヨーロッパ食品事業の拡大

フランスのシテ・マリン社は、白身魚フライ・代替タンパク製品の生産能力を増強し、ヨーロッパにおける販路拡大のため、フランスのブルメリンに拠点を置くケラナ社を買収しました。

ニュース

▶ <https://www.nissui.co.jp/news/index.html>



### 企業CM情報

「食」を通じた社会課題解決への取り組みを、生活者との接点とともに描く企業CM、第1弾「速筋タンパク」、第2弾「完全養殖黒瀬がり」を全国のTVおよびデジタル広告・交通広告で展開しました。

第1弾「速筋タンパク」



第2弾「完全養殖黒瀬がり」



ブランドメッセージ 特設ページ

▶ <https://www.nissui.co.jp/corporate/brandsp/index.html>



TOPICS  
トピックス

### サステナビリティ経営の推進

ニッスイグループでは、社会課題の解決を通じ、自社の持続可能性を追求するサステナビリティ経営を推進しています。

### TCFD提言への取り組み

地球環境の保全は事業継続のためにも不可欠です。気候変動対応は重要な経営課題と認識し、TCFD\*提言で推奨される「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4つの開示項目に沿って情報を開示しています。



※TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

TCFD

▶ <https://nissui.disclosure.site/ja/themes/223>



### ESG投資指数の構成銘柄に新たに選定

ESG投資のための株価指数である「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index<sup>※1</sup>」と「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)<sup>※2</sup>」の構成銘柄に選定されました。サステナビリティ経営を進めてきたことが各種機関に評価いただきました。

※1 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index：FTSEラッセル社が提供。ESGの対応に業種内で相対的に優れた日本企業のパフォーマンスを反映する指数で、業種配分の偏りが無いよう設計。

※2 MSCI日本株女性活躍指数(WIN)：MSCI社が提供。企業における女性の雇用・昇進などのデータやダイバーシティの取り組みなど性別多様性に関する開示情報をもとに優れた企業を選定。



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

免責事項  
THE INCLUSION OF Nippon Suisan Kaisha, Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Nippon Suisan Kaisha, Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.  
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.